

**JASWHS** 公益社団法人 日本医療社会福祉協会  
Japanese Association of Social Workers in Health Services

## 東日本大震災 MSW災害支援ニュース



### 目次

1. 年頭の挨拶（災害対策本部長）
2. 災害対策本部からのお知らせ
3. 現地支援活動報告①②③④⑤
4. 仮設住宅における医療福祉相談会の報告
5. 現地・事務所協力員の感想文

# 年頭の挨拶

日本医療社会福祉協会

災害対策本部長 佐原 まち子

あけましておめでとうございます。

昨年(2021年)の3月11日以降、私たち日本医療社会福祉協会もすぐに災害対策本部を立ち上げ、いろいろな方々の連携のもと石巻市を中心に、仙台市や岩手県への協力、福島県の医療ソーシャルワーカー協会との連絡などいろいろな局面をその時その時に知恵を結集し乗り越え、支援をつないできました。

現地支援者延べ966名・事務所支援者延べ509名(平成23年12月末日現在)の医療ソーシャルワーカーが全国から結集してくれました。本当にありがとうございました。石巻福祉避難所「遊楽館」で医療ソーシャルワーカーとしての役割が評価されたことに端を発し、現在も在宅避難者への支援、仮設住宅での相談会と役割が期待され継続しています。

日頃は医療機関の中にいることの多いソーシャルワーカーが被災地支援で何ができるのかと、戸惑いながら参加された方も多いと思います。しかし日常で培われた連携力や判断力、仕事のスピードなどが、どの局面でも使える強みであることを再認識できたことと思います。

9か月間、無我夢中で走ってきた当協会の災害支援ですが、昨年の11月からは石巻市に事務所兼生活拠点を確保できました。これまで継続できたことにはいろいろな要因がありますが、何よりも現地責任者として草水美代子さんが4月から役割を担ってくださったこと、そしてそのあとを亀田総合病院にいらした佐藤杏さんが10月から12月まで引き受けてくださり、そして現在東京都医療社会事業協会の会長でもある武山ゆかりさんが3月まで現地責任者としてバトンを受け取ってくださいました。亀田総合病院からは7か月もの長期にわたりMSWを現地派遣してくださいました。また、この時期に現地責任者などの確保を難しいと諦めずに、粘り強く奔走し毎週現地に「金曜日の女」として出向いてくれた笹岡真弓副本部長。東京の災害対策本部で支援者コーディネートにあたってくださった取出涼子さん率いる初台病院グループの方々。ニュースを輝かしく素敵に彩って発行してくださる群馬県協会の有志、そして全国から参加してくださったみなさま、行かれないけれど心を寄せて寄付やパワーを送り続けてくださった皆様。皆様の力の結集です本当にありがとうございます。

でも、まだまだ続きます、専門職支援の出番はまだ継続します。今年も目が離せないこととなりますので、どうぞ引き続きのご支援をよろしくお願いします。



## 災害対策本部からのお知らせ

### 現地協力員募集！！

現在1月の協力員を募集しております。  
特に後半が手薄な状況です。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。  
詳しくは協会ホームページをご覧ください。

### 引き続き事務所協力員募集！！

事務所では1月の協力員を募集しております。  
現在手薄なのは下記の日程です。  
ご協力いただける方は災害対策本部までご連絡下さい。お待ちしております。

7日(土)午後 9日(月)午後 11日(水)午後 14日(土)午後  
16日(月)午後 18日(水)午後 19日(木)1日 21日(土)午後  
23日(月)午後 25日(水)午後 28日(土)午後 30日(月)午後

### 災害対策本部会議について

1月23日(月)19:00～本部のメンバーで今後の方針等を話し合います。  
決定したことは後日皆様にご報告させていただきます。  
この活動へのご意見や、会議での検討事項等がありましたら1月16日までに災害対策本部にお電話やメールでお寄せ下さい。

### 災害支援S W報告会について

下記の日程で災害支援S W報告会（旧ボランティア報告会）を行ないます。  
災害対策本部までメール又は電話でお申し込み下さい。

日 時：2012年1月20日(金) 19:00～20:30

場 所：日本医療社会福祉協会 会議室

#### <連絡先>

災害対策本部 月～金：10:00から17:00 土：10:00～12:00

TEL：03-3351-5038 FAX：03-5366-1058 Mail：dsstsw@jaswhs.or.jp

## 現地支援活動報告①

加藤 淳（南町田病院）

期間：12月22日～12月25日

現地活動に関して、9月の遊学館以来から2度目の参加となります。

1日目は、訪問同行や石巻災害復興支援協議会仮設サロン支援連絡会への参加、2日目・3日目は仮設住宅での茶話会に参加しました。

茶話会が開催された日程はクリスマスということもあり、仮設住宅の集会所に飾り付けを行いました。仮設住宅に入居されている方々のお気持ちを思いながら、お祭り気分ではなく、ささやかに施させて頂きました。

今回の参加で強く感じたことは、現地におけるソーシャルワーカーの役割・必要性があまりにも増していることです。利用すべき制度に結びついていない方々のために、まさにSWの支援が求められています。現地の関係機関と連携・調整を図りながら、SWの活動の場をここまで広げて頂いた佐藤さんや武山さんを始めとする現地担当者や、これまでリレーで参加して頂いた方々、災害対策本部の方々に大変感謝致します。SWの必要性が増した分、今後も継続的に人手が必要となります。今後も多くのSWが支援に参加してゆかなければなりません。

活動を終えて、新幹線に乗って自宅に帰る途中、前回は強い不全感を感じたものですが、今回は「また行かなければならない」という気持ちを強く感じました。

今回、現地で一緒に活動させて頂いた方々、災害対策本部の方々には大変お世話になりました。この場を借りて御礼を申し上げます。有難うございました。

## 現地支援活動報告②

鶴田 光子（聖テレジア病院）

期間：12月24日～12月25日

23日夕方、凍るような空気の中現地到着。現地担当の武山さん、初代担当の草水さん、加藤さん、田中さんと一緒に活動しました。

24日・25日の仮設住宅の茶話会はそれぞれ異なる雰囲気と内容でした。

24日は小さな仮設住宅で参加者は女性ばかり、お孫さんも3人加わりにぎやかでした。最初は仮設住宅間の情報や物資の偏りの話題でしたが、そのうち津波の時の状況、御遺体のことなど、だれからともなく話し出されました。これは私たちが以前の関わりでは聴くことのなかった話題で、やはりこのようなことを話すには長い時間が必要だったのでしょうか。穏やかで明るい皆さんの負っておられるものの大きさに胸を衝かれました。

25日は「住民の自治組織をどのように作るか」が課題で、コミュニティワークの経験のない私には学ぶところが多かったです。クリスマスなので、茶話会も5人の知恵とセンス！？を動員して、飾り付けやサプライズなど派手でなく、でも楽しい雰囲気にと努めました。自分のソーシャルワークのスキルや何より寄り添う心の乏しさをあらためて感じつつ、雪の舞い散る石巻を後にしました。

## 現地支援活動報告③

小林 一幸（角田病院）

期間：12月26日～12月28日

5月に遊楽館へ来ましたが、避難所閉鎖からは初めての石巻入りです。本当は茶話会への参加希望でしたが、日程が合わず平日での参加となりました。

1日目は午前中、事務所内の資料確認を行い、午後は在宅のケース訪問をすることができました。

2日目は、報告書作成などを事務所で行い、祐ホームクリニックを訪問、午後は河南保健センターで行われた仮設住宅入居者ケース検討会議に参加させていただきました。各仮設住宅ケースについて細かく検討しており、他機関との連携もできていることを感じました。

3日目はケース記録作成や書類整理などをして活動を終わりました。

今回で2度目の参加になりましたが、まだまだ私たちのやるべきことは多くあることを感じ、継続支援の必要性を感じました。今回の活動を通して、これからの活動に活かしていくことができればという思いと、この活動を帰ってからしっかりと伝えていかなければという思いがあります。活動期間中に支援して戴いた方、送り出してくれた職場の方へ感謝いたします。ありがとうございました。

## 現地支援活動報告④

田中 賢司（岡村記念病院）

期間：12月23日～12月30日

23日：女川町男性宅在宅訪問。渡波で1件資料配布しにいくが、目印の建物がなく、訪問先を探すのに苦慮する。石巻専修大で第20回石巻仮設サロン支援連絡会議に参加。

24日：曾波神団地の集会場で茶話会実施。9名参加。

25日：蛇田団地で茶話会実施。12名参加。談話室、鍵の管理の運用まで進む。

26日：河南支所に曾波神団地の鍵を返却。渡波地区2件訪問。小児麻痺の男性、母と孫が面倒を見ている。もう1件、女性に介護保険のしおりを届ける。

27日：市役所仮設住宅管理室へ24日と25日の茶話会の報告書を提出。

祐ホームクリニックに挨拶。

河南の保健センターで仮設住宅入居者ケース検討会議に参加。

28日：クラウドを運用。身障者の手続きのFAXを送る。専修大学災害復興支援協議会に活動報告を提出。

29日：クラウドにて27件電話。（完了14件、継続7件、不在6件）

30日：事務所の掃除。

初めての石巻入りでした。多くの在宅訪問ケース、ボランティア中心の連絡会、茶話会、ケース検討会議など幅広く活動ができたことを満足しております。同時にMSWとしてのスキルのなさも痛感いたしました。クライアント、石巻で関わった方又協会の皆様に触発されて、来年の新たな目標ができました。活動期間中に支援して戴いた方、送り出してくれた家族、職場の方へ感謝いたします。ありがとうございました。

## 現地支援活動報告⑤

藤村 智子（初台リハビリテーション病院）

期間：12月28日～12月30日

28日：クラウドを運用。専修大学災害復興支援協議会、石巻市立病院見学。

29日：クラウドにて20件電話。（完了7件、継続10件、不在3件）

30日：クラウドにて3件電話。（継続1件、不在2件）事務所の掃除。

震災から9か月。被災された方々の電話の声は、まだ、心の傷を癒すには時間が必要と思われる方、希望を見出し新しい一歩を踏み出される方と様々でした。ふと、回復期の患者様への支援を思いました。心の傷の深さはそれぞれ。お1人お1人に寄り添いながら、人生に生甲斐や希望を見出せる支援のタスキを絶え間なく繋いでいくことが大切と痛感しました。

専修大学災害復興支援協議会を見学し、自治体、専門職団体、NPO等のボランティアが垣根を越えて活動する事の重要性と効果について改めて考えたいと思いました。組織、チームの在り方についての貴重なヒントが隠されている予感がし、石巻の奇跡と呼ばれるシステムについても学びたいと思います。

クラウドにより、石巻入りが困難なボランティア志願者の力を活用する事が出来るのではと大きな可能性を感じました。例えば、石巻よりフォローの電話が必要なケースのリストを頂き、石巻以外の場所からMSWが電話し、その結果を石巻に返して、フォローが必要な方に関しては現地石巻のボランティアが対応するなどです。



石巻港

# 医療福祉相談会の報告

現地担当者代理 加藤 淳

12月24日・25日に12回目の仮設住宅における茶話会／相談会を実施しました。

1日目は9名、2日目は12名の方の参加があり、計21名の参加でした。

1日目の団地は今回2回目の開催でした。当日はクリスマス・イヴであるということもあり、集会所前に簡単なイルミネーションを施しました。午前は2回目の方と初めての方が数組、子ども含めて参加されました。震災時のことや、他の仮設と比べて物資が行き届かないことに不満を話されていました。午後はお一人、初めての方がいらっしゃいました。その方は福祉関係で仕事をされており、震災時における身内に対する同業者の対応、震災以降の生活の苦勞について話されていました。

2日目の団地は4回目の開催で、前回参加された方々が多く参加されました。談話室の使い方、住民による鍵の管理、消耗品の購入と費用の会計などの分担について話し合われました。他の仮設での利用状況について、参加者のお一人（社協見守り隊）とささえあいセンター職員から情報や助言をいただき、おおむね住民同士で管理体制や集まりを進めていくことになりました。カラオケやお茶会など、参加者から、これから自分たちで行う催しや、ボランティア支援のイベントや物品の支給（バザーなど）の希望が話に出ました。市には行政委員さんからも報告の予定となっているそうです。次回の開催時はもっと自治活動が進むことと思います。参加者に団地内の『相談』が必要な方への声掛けもお願いしました。当日はクリスマスのため、クリスマスケーキを用意しました。誕生月の方もいて好評でした。



配布したチラシ&ポスター



イルミネーションを施す様子



茶話会の様子

## 現地感想文

12月19日(月)

今日は、明日からの準備と、フォローケースでいっぱいでした。

明日も今日と同じくらい暖かい日を期待します。石油ファンヒーターが活躍を始めました！準備してくださった篠原純史さんの温かい心がジワジワと伝わってきます！ありがとうございます！

12月20日(火)

いよいよ雪の中の・・・とたくさん着込んで歩いたら、暑くなる位の一日でした。午後は陽も射し、風は耳が痛くなるほど冷たいですが雪は積もらずに済みました。東は津波、西は凸凹路面で、やはり被害がまだまだそのままのところも。全半壊家屋を壊しているところがどちらにも。まだまだ悲しい風景です。

山梨の柚子、いい香りで元気が出ます。仮設でよろこばれること請け合いです！

12月21日(水)

茶話会準備とフォロー電話で追われました。六斎の会から届いた漬物、美味しそうです！茶話会で話題になるでしょう。

12月22日(木)

朝起きたら銀世界でした！積雪数センチですが、暖かい日中の陽射しで、市内はほとんど溶けました。午後、河南、遊学館付近を通ったら、しっかり雪景色。山側はやはり寒いのですね。仮設のあなたの方、この方、遊楽館前の仮設に入られた方の顔が浮かびます。

夜の会議の帰り道、濃霧注意報と、高潮警報が出ています。ちょっと緊張。

12月23日(金)

冷たい風の中、女川のケース訪問に行きました。壊滅的な女川港は大型ダンプが疾走。町立病院は、高いところにあるのにそこまで水が・・・と、頑張ってたった1軒お店を開いていた鮮魚・寿司店主が悔しそうに説明してくださいました。

海は美しく、風光明媚なのに…。

12月24日(土)

ホワイトクリスマスになりました。

殺風景で、寒々しい仮設外壁にちょっとだけ灯りをともしました。孫が喜ぶから、とのことで、夜9時に再撤去に行きました。

入居者のところにも明かりが灯るといいですね。子どもも参加の茶話会、喜ばれました。

12月25日(日)

石巻は良い天気が続いています。

街は年末モード。ショッピングセンター周辺が混雑していますが駅前商店街は閑散。その中の復興ふれあい商店街を表敬訪問しました。

地元若者たちも、サンタの衣装で、生ガキを売ってがんばっていました。

12月26日(月)

冷たい風の中、河南地区から渡波地区まで、石巻市を横断して走り回っています。明日も、仮設に生活する方のフォローで、訪問をしますが、山に近いところは雪も多く、これから車は心配です。街は工事車両の渋滞が始まっています。

12月27日(火)

石巻は霰が降りました。

明日は一般的に仕事納めですが、明日来て下さる方もいて、アセス後フォローの電話入れてがんばってくださいることになっています。

茶話会、在宅支援とも、信頼され広がっているMSWの仕事です。





## 事務所感想文

12月19日（月）

清水（初台リハビリテーション病院）

とても落ち着いていました。作業に追われることなく、マニュアルを読み直したり、活動報告を読ませていただいたり、いつもとはまた違う、有意義な時間を過ごせました。

12月21日（水）

松永（初台リハビリテーション病院）

約2カ月ぶりの活動でした。富永さんもいらっちゃって、半日とても安心して過ごせました。次回の活動日はもう少し積極的に頑張ります。

12月23日（金）

取出（初台リハビリテーション病院）

一原さんと来年1月の打合せをすませ、年を越せることに感謝。現地で活動しているSW、これから活動に行く方にも感謝です。また、ある資料を作成するために、3月からのニューズレターを1時間くらい読みました。3月からの活動を振り返り、本当に対策本部と、これまで関わってこられたSWたちに尊敬の念を覚えます。現地の住民の皆様が未来が少しでも良い年になりますように…。皆さんも冬休みにじっくりニューズレターを見直してみませんか？お勧めです。

12月24日（土）

芦田（初台リハビリテーション病院）

静かな午前中で、落ち着いて作業ができました。今日はクリスマスイヴです。現地の住民の皆様が少しでも心穏やかにクリスマスをお過ごしになれますように…。

12月26日（月）

東（初台リハビリテーション病院）

年の瀬も近づいてきました。年内遣り残していることがないか…なぜか焦ってしまいます。事務所は28日まで。最後まで気を抜かずに頑張りたいです。

12月27日（火）

伊藤（渋谷総合病院）

平日は久しぶりの事務所でした。仮設住宅の名称を地図に貼り付け、プロットマップに茶話会の開催日を貼り付けていきました。仮設団地はまだまだたくさんありますね…これから皆でやっていきましょう。

事務所では現地とはまた違う何かを得られます。一原さんお世話になりました。ご挨拶が「良いお年を！！」という時期になりました。皆様、風邪など召ませぬよう元気に新年を迎えましょう。

12月28日（水）

左右田（初台リハビリテーション病院）

事務所ボランティアも本年最後となりました。現地の皆様、事務所ボランティアの皆様、お世話になりありがとうございました。来年もどうぞよろしくお祈りします。

